

【済生会習志野病院】 令和7年度病院前救護所検討へ向けた試行訓練 報告書

実施日時:令和7年9月25日(木) 15時30分~17時00分

【目標1】救護所の設置を速やかに行い病院前救護所運営を実施するにあたり必要物品を確認する。

項目	詳細・課題
(1)設営に要した時間	○テント1張・バルーンライト1台・発電機1台を速やかに設置できた。 ○机・椅子は病院から借用
(2)設営	○バルーンライトをテント外に設置した。
(3)物品確認	○テントは折りたたみ式のものを使用した。速やかに設置できる一方で風を遮るものがなく、テント内の書類が飛ばされることがあった。屋外の場合は天候によって活動が左右されることの無いよう、風雨に対応するための対策が必要。
(4)備考	○書類の保管等風雨に対応できる蓋付キトレ、救護所を示す旗・看板の案内

【目標2】傷病者の来院を想定し、トリアージの実施と病院内のトリアージエリアへの搬送に係る手順や動線を確認する。

	詳細・課題
(1)トリアージ・カルテの記録	○想定される傷病について、トリアージを4例実施した。 ○カルテ作成に時間を要した。基本的な流れについて、傷病者の人数等によっては、トリアージを速やかに実施しその後カルテ作成及び治療とするか検討が必要。
(2)搬送手順の確認	①トリアージとカルテ作成 ②院内への搬送が可能か院内災害対策本部へ確認 ③院内搬送ではカルテ、トリアージタグを持たせる。 ※院内搬送の可否を院内災害対策本部へ確認し、搬送可否を判断いただく。
(3)搬送に係る動線の確認	緑…正面玄関に向かって左手に救護所を設置。多数来場した際の対応の流れの整理が必要。 黄…救急外来から入り処置センターへ搬送 赤…救急外来から入り重度処置室へ搬送
(4)備考	○発災から時間の経過とともに、傷病者やそれ以外の避難者が増加するため被災状況に応じた体制整備が必要。

【目標3】院内災害対策本部への情報伝達手段を確認する。

	詳細・課題
(1)滞りない伝達	○設置報告と定時報告は書面で、院内2階の災害対策本部に報告。
(2)備考	○黄・赤の搬送可否の判断について、院内災害対策本部に都度確認する時は、速やかな情報伝達手段が必要。

【習志野第一病院】 令和7年度病院前救護所検討へ向けた試行訓練 報告書

実施日時：令和7年12月6日（土） 13時00分～14時30分

【目標1】 想定エリアに救護所を設置し、必要物品を確認する。また、救護所内のトリアージエリア・軽症者治療エリアも併せて確認する。

項目	詳細・課題
(1)設営場所の確保	○正面入口を入れてすぐ右側に受付ブースの設営とした。 ○机・椅子は病院から借用
(2)設営	○院内での設営のため、机・椅子・ホワイトボードのみを用いて受付ブースを開設した。
(3)トリアージエリアの確認	○受付後すぐにトリアージを行う。
(4)軽症者治療エリアの確認	○正面入口入って左側に緑患者の待機スペースと治療スペースとする。

【目標2】 傷病者来院から受付トリアージを行う。緑は軽症者治療スペースで治療後帰宅とし、黄・赤は院内の治療スペースに搬送する手順や方法を確認する。

項目	詳細・課題
(1)トリアージ・カルテの記録	○想定される傷病について、トリアージを10例実施した。 ○カルテ、傷病者一覧の作成は手書きとなるため時間を要する。
(2)搬送手順の確認	①傷病者一覧を作成しトリアージ ②緑は治療スペースへ、黄・赤は院内受付（総合案内の場所）へ案内し電子カルテ作成後、治療スペースに搬送。搬送の際カルテ、トリアージタグを持たせる。
(3)搬送に係る動線の確認	○全ての来院者は正面玄関を入れて右手で受付をする。受付後は、 緑…トリアージタグをもって緑治療スペースへ移動。処置後はポプラ前出入口より帰宅とする。 黄…院内受付で受付をし、黄待機所へ搬送する。 赤…院内受付で受付をし、黄待機所を通過して赤待機所へ搬送する。（緑治療スペースは混雑が予想され赤患者を搬送する動線として適さないため）

【目標3】 院内災害対策本部への情報伝達手段を確認する。

項目	詳細・課題
(1)情報伝達方法	○市受付と院内災害対策本部が近距離のため、基本的な情報伝達は直接（紙面及び口頭）行う。 ○伝達した情報の管理方法を検討する必要がある。（情報の集約等）

【谷津保健病院】 令和7年度病院前救護所検討へ向けた試行訓練 報告書

実施日時：令和7年12月22日（月） 16時00分～17時00分

【目標1】 救護所の設置を速やかに行い病院前救護所運営を実施するにあたり必要物品を確認する。

項目	詳細・課題
(1)救護所の設置	○テント1張・バルーンライト1台・発電機1台を速やかに設置できた。 ○机・椅子は病院から借用
(2)物品確認	○テントは折りたたみ式のものを使用した。長時間にわたる救護活動となることを考慮すると、気温に左右されないよう検討が必要。

【目標2】 傷病者の来院を想定し、トリアージの実施と病院内のトリアージエリアへの搬送に係る手順や動線を確認する。

項目	詳細・課題
(1)トリアージ・カルテの記録	○病院が受付・トリアージ・処置ブースを設置し、市が病院前救護所としてその場を引き継ぐ形で訓練を実施した。 ○市職員等が後から合流するため、記録等の引継ぎ方法について検討が必要。 ○病院職員が患者役となり実際にトリアージ行い、タグ・カルテの記録を実施した。
(2)搬送手順の確認	①トリアージとカルテ作成 ②トリアージタグとカルテを持たせ、院内へ搬送 ※院内搬送に係る確認は不要
(3)搬送に係る動線の確認	緑…病院前救護所で処置後帰宅 黄…救急外来入口から1階診察室前へ搬送 赤…救急外来入口から救急外来処置スペースへ搬送
(4)備考	○発災直後は病院が受付・トリアージ・処置ブースを開設し、その後参集した病院前救護所要員がその場を引き継ぐ形となる。そのため円滑な体制変更の方法を検討していく必要がある。

【目標3】 院内災害対策本部への情報伝達手段を確認する。

項目	詳細・課題
(1)情報伝達手段の確認	○設置報告と定時報告は書面で、院内2階の院内災害対策本部へ報告した。